

【出席者】

久隆浩(近畿大学 教授)、渡辺慶人(大阪市立木津中学校長)、奥浦光雅(本校同窓会長)、  
幡多伸子(浪速区長)、堀久美(本校PTA会長)、  
安田幸一(校長)、東文義(教頭)、大塚泰之(首席)

【1】校長挨拶

【2】大阪府立今宮高等学校 学校運営協議会 実施要項準則及び傍聴規則

【3】運営協議会会長及び副会長選出

【4】学校経営計画について

【5】コロナ禍での対応等について

【6】協議

(1) 令和2年度学校経営計画及び学校評価

令和2年度学校経営計画及び学校評価 内容について承認

(2) 令和3年度学校経営計画及び学校評価

令和3年度学校経営計画及び学校評価 内容について承認

(3) 令和4年度使用教科用図書選定理由書学校経営計画について

令和4年度使用教科用図書選定理由書について 内容について承認

(4) コロナ禍での対応(オンライン授業について)

- ・大学ではオンデマンド型授業により、自分の都合に合わせて受講できるなど、良い部分は残すようにしている。

「リモート」は1対1での授業の感覚で受けることが可能。チャットなどで質問を投げかけることができ、課題の出し方を工夫すれば観点別評価も可能になると考えています。

- ・現在、使用法を共有している段階。グーグルクラスルームを使って発展的な内容を入れるなど、生徒のレベルアップに努めている。今後、一人一台ずつタブレット端末が導入されるので、よりわかりやすい授業を考えていきたい。

(5) これからの総合学科について

- ・今の中学生に対して、総合学科というものが伝わりにくいのではないのでしょうか。

→総合学科が伝わりにくいというよりは、国公立大学進学を前面に出し進学に対する特殊性を打ち出したものの、カリキュラムなど中身の細かい部分が整っていなかった。

子どもの将来像についても、しっかり考えさせたいうえで進めていきたい。

- ・高校生のうちから、大学や社会人などを活用して、輝いている大人を見るという経験があるほうがいいのではないかと思います。

- ・本校では、1年次で「産業社会と人間」、2・3年次に「総合的な探究の時間」がある。これらを活用して、これらを体系化していくのが重要だと思います。

- ・時代がどんどん変化しています。これからは様々な課題を見つけ、解決していく力が必要になります。

- ・出口(卒業時)に向かって、それぞれの授業の役割を明確にしていく必要がある。方針としてディプロマポリシーの考え方を踏まえ、しっかり進めていきたい。